

現在、本格導入前のデモとして鳥取県で4台、島根県で2台、徳島県で1台導入されており、評判も上々。予約も含めて広がりつつある。

「少子高齢化、人口減少社会の中で、効率的に医療事故を減らす」ご支援の一端を担えれば」

と若木主任。

田栗社長は「ミツテルをきっかけに、システム開発をはじめ、我々のできることや、リモートセンシング、ウェブサーバーなど得意とすることで、今後医療・福祉業界に貢献できれば」とした。

美容室「air」が新たに

訪問美容サービス開始

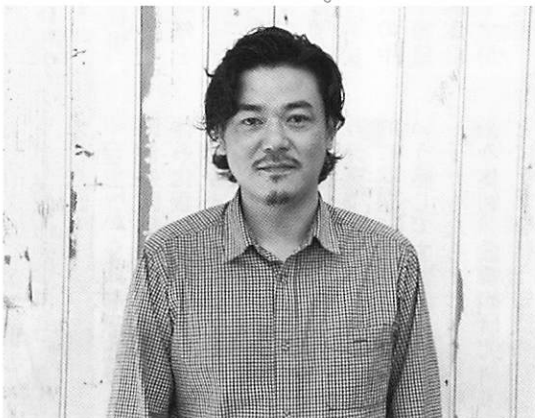
鳥取市で美容室「air」を運営している㈲ラブアンドピース（鳥取市栄町六〇一、西川征和代表取締役）では、10月下旬より、新たに訪問美容サービスを開始している。

新サービス「torrip」は、介護福祉施設入所者や医療機関の入院患者を対象にしたもので、カットだけでなくカラーやパーマなど、美容室と同等のサービスが受けることが可能なもの。

西川代表によると、この地域でこのようなサービス提供を行っているところは少なく、さらに美容室と同等のサービスとなると初の試みのものになるのではと話している。

「カット後、多くの方が自然と明るい笑顔になったり、嬉しそうなる表情になる。美容には人を前向きに、元気にする力がある。入院患者の中には若い方も当然いる。その人たちにとって、おしやれをすることが出来るのできないでは大きく違う」と西川代表。

美容師になりたての頃に高齢者施設でボランティアへ行き、「いつか、こういう事をやりたいなと漠然と思っていた」とい



「torrip」を開始した西川征和代表

う西川代表は、今年に入って、県外で同様のサービスを行っている人物などとの出会いもあり、何度か同様のボランティアを行うなかで、必要なサービスだと確信したという。

料金は低価格に抑え、利用しやすい料金設定としている。ボランティアではなく、事業としたことで、施設側が入浴日に合わせた日程や時間を指定することが可能になり利用者側のメリットをもたらすことになる。

「自分自身ここ数年は、美容師としての業務を徐々にスタッフにシフトし、4店ある店舗の運営管理がメインの業務に。一時はハサミを置き、美容師とし

ての一線を退こうかという思いもあったんですが、自分の美容師としての技術が、この町やそこで暮らす人のために役立てることにつながればという思いが強まっていった。単純に自分自身、まだ役に立ちたい、必要とされたいという気持ちが強かったのかもしれない（笑）」と話す西川代表は四年前に病気で入院したことを機に、興味の対象が変化してきているという。

「40歳を超えて人生の半分が過ぎたわけで、これから、どんな残りの人生をおくるのか。病気をしたことを機にこういった事が一気に現実味を増してきた」。

今回の取り組みの背景にあつたのが、常に考えていた美容師のキャリアプランについての構想だという。

「自分自身も年を重ねながらサロンで働き続けることへの違和感を少し感じていたし、美容師は若い時にしかできないという感覚を抱えている人も多いのは事実。生涯、美容師として働くことへの不安を解消していくことは必要なこと」と、今回のサービスは生涯美容師で居続けられる、その一つの形になるのではと話している。

「加えて、出産、子育てで休職中の美容師の雇用の受け皿にという思いもある。土日の出勤の回避、短い勤務時間が可能なことから、子育て中でも美容師として技術を生かすことが可能になるのではと期待を高めている」。

「torrip」のエリアとするのは鳥取市と岩美町、八頭町だが、エリア外も相談に応じるほか、在宅訪問へも対応している。

お問い合わせ先（TEL0857-21-6060）まで。